

6年学年だより Believe

令和7年10月17日

第6学年だより

第19号

今週の文責：古閑 啓之

残り 100 日

10月17日（金）で小学校生活の残りが100日になりました。6年生の折り返しです。学年集会を開いて、学年として目指す姿を確かめる機会を作りました。最高学年として、学校のリーダーとして思いを新たに、がんばってほしいと願っています。また、一人一人が残り100日のがんばりたいことを考え、書きました。一日一日の日々の積み重ねが着実な成長につながります。ご家庭でもお子様と残り100日のがんばりたいことについて話題にしてみてください。

マニラ日本人学校との交流！回目

10月16日（木）にマニラ日本人学校とオンラインで交流をしました。

マニラ日本人学校は3年生の時に担任だった黒澤敬子先生が現在赴任している学校です。今年度は黒澤先生が6年生を担当していることや、交流のねらい・目的が高学年の方が適していることから、6年生同士の交流を計画しました。

交流の計画を立てる上で大切にすることは、ねらいです。この交流の大きなねらいは、「マニラ日本人学校の子どもたちと友達になる」ことです。お互いの学校や生活のことを教え合う文化交流はもちろんですが、それ以上に人と人とのつながりが感じられる交流にしたいと願いました。そのための手だてをいくつか講じました。1つ目は、小グループでの交流です。小グループになって、お互い名前呼び合えるような場を作ることで、つながりを感じさせたいと考えました。最初の交流では自己紹介だけでなく、アイスブレイクの時間も設けることで、仲良くなれるように試みました。2つ目は、交流回数です。1回の交流ではどうしても単発で終わってしまい、つながりを感じるには至りにくいと考えました。交流は11月にも予定していて、全3回実施します。毎回同じグループで、同じ子たちと交流することで、より強いつながりを生みたいと考えました。

当日、画面に映った黒澤先生の姿に懐かしさを覚える子どもたち。全体でのオープニングの後、15グループに分かれて交流をしました。マニラ日本人学校の子どもたちからも、豊溪小学校の子どもたちからも楽しそうな声や笑顔があふれてきて、交流のいいスタートを切ることができました。



卒業アルバムの写真撮影

学校だよりでもお知らせしましたが、1学期に引き続き、卒業アルバムの写真撮影を実施します。

(1) 10月27日（月）

①児童個人写真 ②委員会活動

(2) 11月17日（月）

①クラブ活動